

校長室だより

八代市立龍峯小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標 「**学びを生かす子供**」

～自信と誇りをもった「きらりと輝く龍峯っ子」の育成～

R2,10,19

NO,25

礼儀正しい行為がほめられました

先日、自動車通勤で国道3号線を使われる方が、私に「龍峯小の子供は、横断歩道を渡り終わったら、停まっている自動車の方を向いて、必ず会釈をするから感心です。」「男の子2人と女の子3人がよくします。」とおっしゃいました。

そこを通学路として通っているのは、男の子2人と女子3人しかいませんので、通っている子供全員が、きちんと会釈をして感謝の気持ちを示していることになります。

お話をお聞きした翌日の登校時、その5人に、「横断歩道を渡った後に、きちんとお礼を言ってるらしいね、そのことをほめられた方がいらっしゃいましたよ。良かったね。」と伝えました。また、そのことを各担任にも伝え、教室でもほめてもらいました。

龍峯小学校の子供がほめられることは、何よりも嬉しいことです。

就学时健康診断を行いました

10月12日(月)午後から、学校教育を受けるにあたり、来年度入学予定の園児の健康上の課題について、保護者及び本人の認識と関心を深めることなどを目的に「就学时健康診断」を行いました。

当日は、学校医である岡医師による内科検診や小寺歯科医による歯科検診、その他、視力・聴力検査、発達検査などを行いました。

また、保護者の方には、八代教育事務所の社会教育主事である松岡様による「親の学びプログラム」を受講していただきました。子育てに関する悩みや不安の緩和、子育てのヒントなどが得られた有意義な会になったことと思います。

第2回授業研究会を行いました

10月14日(水)の5校時、5年生の算数科の授業をもとに授業研究会を行いました。

当日は、八代市教委育委員会の黒木指導主事を講師としてお招きし、授業に関するアドバイスや今年度より熊本県で取り組んでいる授業構想案の書き方、八代市が推進する「授業改善ステップワン」などについて、ご教示いただきました。今後、ここで学んだことをもとに、授業改善に努め、子供たちに確かな学力を育成します。

5年生の子供たちは、授業前段の前時までの復習では、全員がテンポよく発表し、その定着度の高さが感じられました。また、授業が進み、本時の中心となる課題が提示されると、その解決に向けて目に力を入れて一生懸命に考えたり、ヒントをもらって、「あ～、そうか!」と納得の声を思わずもらしたりしていました。授業後段で練習問題に取り組んだ際は、解けて満足そうな表情を浮かべていました。



子供たちは、よく集中し、よく自分の考えなどを述べ、よく仲間と学び合うなど、能動的、主体的、協働的な態度で授業に臨んでいて、大変感心しました。